

2021 Japan Athlete Games in Osaki

取材要項

(報道機関用)

～申請書記入前に必ずご一読ください～

大会日時:令和3年2月28日(日)

大会会場:ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅 室内競技場

取材申請締切:令和3年2月15日(月) 17:00必着

報道受付時間:2月28日(日) 8:30～

報道各位

報道取材及び新型コロナウイルス感染予防対策に関するお願い

本大会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症に関する「陸上競技活動再開のガイダンス」に基づき、報道関係の皆さまに安全に取材していただくため、下記の要領にて取材・報道体制を整えております。報道関係の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、何卒ご協力の程よろしくご願ひいたします。取材の申請にあたっては、必ず本取材要項をご高覧の上、お申し込み下さい。尚、申し込みされた場合には、本取材要項の全ての内容にご同意いただいたこととさせていただきますので、予めご了承下さい。

<新型コロナウイルス感染予防対策に関するお願い>

- 取材時は必ずマスク着用・消毒の励行をお願いいたします。
- 会場内では手洗いや咳エチケットなどへの心がけをお願いいたします。
- ゴミは各自お持ち帰りいただきますようお願いいたします。
- 取材人数・取材方法・取材エリアに関しては、大会関係者の指示に従っていただくようお願いいたします。
- 最小限の人数での取材対応にご協力をお願いいたします。
- 3密を防ぐため、対選手だけでなく報道関係者同士のソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。※2m以上(最低でも1m)
- 大会開催1週間前から体調管理・検温を徹底していただき、指定の体調管理チェックシート(様式①)を大会当日に提出いただきます。また、必ず終了後2週間の体調管理・検温をお願いいたします。(大会終了後に提出いただく場合がございます。)
 - ※ 競技会3日前～当日に症状がある場合は、会場への入場は認められません。
 - ※ 提出いただいたチェック表は返却いたしません。予めご了承ください。
- 万が一、大会終了後2週間以内に発症が確認された場合は、必ず大会主催者に報告をお願いいたします。その際、個人情報が必要な公的機関へ提供させていただく場合がございます。また、感染者が発生したことを公表させていただく可能性がございます。予めご了承ください。
 - ※ 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせていただきますようお願いいたします。
 - ・ 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- その他、「陸上競技活動再開に関するガイダンス」に沿って実施いたします。

1 取材申請について

取材に関しましては、あくまでもスポーツ報道を対象としております。従いまして、スポーツ報道以外の目的での取材は、原則としてお断りいたします。スポーツ報道以外の目的で取材を希望される方は、事前に実行委員会事務局(099-476-1111)までお問い合わせ下さい。

(1)報道取材可能団体

本大会は室内競技場を大会会場としており、プレスルーム・取材・撮影エリア等のキャパシティが狭く、報道各社様の密を避けるなどコロナウイルス感染防止の対策の観点から、鹿児島県政記者クラブ「青潮会」の会員社で、スポーツ報道を目的とするメディア及び陸上専門誌(月刊陸上・陸上競技マガジン)に限り、取材申請枠(※)を設けさせていただきます。

日本新聞社協会、写真記者協会、日本雑誌協会、スポーツニュース協会(含系列局)、日本スポーツプレス協会、日本外国特派員協会の各加盟社で、スポーツ報道を目的とするメディアで上記「青潮会」に支局及び系列局等が無い場合には、大会終了後に写真等を提供させていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

また動画媒体の報道機関におきましては、今大会のオフィシャルメディアが行う動画配信をニュース映像として使用できるよう要件等を定めますので、御理解いただきますようお願いいたします。 ※使用要件については整い次第公表いたします。

(2)申し込み方法

①取材申請書

本要項に添付されている取材申請書による事前申請となります。

2月15日(月)17:00必着にて、大会事務局までFAX(099-476-3979)またはメール(mati@town.kagoshima-osaki.lg.jp)にてお送りください。

※ 申し込み締切後の申請、当日の申請は一切をお断りさせていただきますので、予めご了承ください。

②写真の提供

2月22日(月)17:00までに別紙申請書を①同様にご提出ください。

※ 提供させていただく写真については、実行委員会で選定したものを送付いたしますので御要望には応じられません。予めご了承ください。

(3)申し込み後の流れ

申請が許可されましたら、押印した取材・撮影許可証及び入場許可証等を大会事務局より送付いたします。大会当日は忘れずにご持参ください。当日ご持参いただけなかった場合、安全対策の観点から入場をお断りいたしますのでご了承ください。

(4)事前のご案内

今大会は、観客席などない室内競技場を会場としておりますので、取材スペースがかなり限られており、撮影したい映像がほぼ撮れないことが想定されます。予めご了承ください。

※取材申請枠

区分	記者	フォトグラファー	備考
新聞各社	1社1名	1社1名	
テレビ局	1局3名 (記者・カメラマン含む)		1局につき ENG カメラ2台(民生機・デジタルカメラ含む)までの枠内で調整。(撮影エリアが限られているため1台は競技場内、1台はミックスゾーンを想定)
専門雑誌	1社1名	1社1名	月刊陸上・陸上競技マガジン

2 大会当日の取材について

(1) 報道受付、IDカード・ビブスの受け渡しについて

- ① プレスIDカードの受け渡しは、大会当日、報道受付にて各社代表者に一括してお渡ししますが、入場の際は全員検温するようにお願いします。報道受付場所は、後日送付される会場図を御参照ください。
 - ・1週間分の体調管理チェックシート(別掲)は、大会当日に取材申請書に記載した全員分の提出をお願いいたします。提出のない場合は、ご取材いただけませんので予めご了承ください。
 - ・受付の際に検温を実施させていただきます。37.5 度以上を示した場合は、感染拡大防止のために入場を辞退いただきます。(非接触型の体温計にて検温いたします。)
- ② 大会当日は報道受付で、記者にはID、スチールカメラマンとENGクルーにはIDカードと腕章をお渡しいたします。その際、押印された取材・撮影許可証を持参して下さい。申請者が同時入場できない場合は、既に入場した申請者が受付に再度お越しいただき手続きするようお願いいたします。
- ③ IDカードの再発行はいたしませんので、自己管理をお願いいたします。
- ④ IDカード・腕章は、競技中は必ず着用して頂き、お帰りの際は必ず返却して下さい。
- ⑤ 取材者氏名をすべて記入して頂きますが、試合当日の取材者の変更は取材者数枠内で可能です。その際、ご本人の確認を行いますので、身分証明書のご提示と体調管理チェックシートを必ず提出してください。

(2) 記者の皆様へ

- ① 記者エリアにつきましては、大会当日にご案内いたします。
- ② ミックスゾーンは、室内競技場 100m フィニッシュ地点付近器具庫外に設置します。

- ③ 記者として申請された方は、どのエリアでもカメラ撮影はお断りしております。スチールカメラを兼任される方は、必ず事前に申請して下さい。
- ④ 選手に関しましては、ミックスゾーンでインタビューを行えるよう担当スタッフが選手を誘導いたします。但し、リクエストに応じられない場合もありますので、予めご了承下さい。
- ⑤ 本大会において、入賞者を対象とした記者会見はありません。
- ⑥ 大会期間中、選手への単独インタビューはご遠慮下さい。

(3) スチールカメラの皆様へ

- ① ミックスゾーンへの入場は記者のみとなります。
- ② その他撮影注意事項等、大会当日に配布する予定です。
- ③ 必ず審判・役員の指示に従って下さい。
- ④ 今大会は、オフィシャルメディアによる全競技のライブ配信・TV生中継が行われるため、中継カメラの撮影ライン上での取材は出来ません。取材場所についてはご配慮いただく場合がございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

(4) TV・ENG取材の皆様へ

- ① 原則として、1局につきENGカメラは2台まで(含民生用デジタルビデオカメラ)でご調整下さい。また人員も、1局最大3名(記者・カメラマン含む)まででお願いいたします。各社の申請を取りまとめた後に、取材人数調整等をする場合もございます。
- ② ミックスゾーンは、室内競技場 100m フィニッシュ地点付近器具庫外に設置します。
- ③ 今大会は、オフィシャルメディアによる全競技のライブ配信・TV生中継が行われるため、中継カメラの撮影ライン上での取材は出来ません。取材場所についてはご配慮いただく場合がございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。
- ④ その他撮影注意事項等、大会当日に配布する予定です。

3 取材・撮影エリアの注意事項

(1) プレスルームについて

- ① プレスルームの場所は、施設内多目的ホールをご用意しております。

ご利用可能時間は、報道受付開始から競技終了後 1 時間とさせていただきます。ご協力の程宜しくお願いいたします。

- ② プレスルームには電源付きデスクや無線 LAN の準備はありません。あらかじめご了承ください。
- ③ リザルトの掲示については改めてご案内いたします。
- ④ 貴重品等の紛失については、主催者は一切責任を負いませんので、ご了承下さい。

(2) ミックスゾーンでの取材について

- ① 競技終了後、全選手はミックスゾーンを通過いたします。
- ② ミックスゾーンは、記者、ENGを区分してエリアを設けておりません。ご了承ください。インタビューの際は取材陣の距離(1m)も空けるなど、新型コロナ感染予防策をとり、対象選手との距離(2m)も空ける形になりますので、ご理解下さい。
- ③ スチールカメラマンの方は、ミックスゾーンへの入場は禁止いたします。
- ④ リザルトの掲示方法は改めてご案内いたします。

(3) 競技場内での撮影について

- ① 三脚の使用は可能です。ただしオフィシャルメディアの中継カメラの撮影ライン上での取材は出来ませんので、あらかじめご理解下さい。
- ② フラッシュによる撮影は禁止しております。
- ③ 企業名のついたウェアでの取材は禁止されております。
※必ず、審判・係りの指示に従って下さい。

4 無線カメラ・機器／報道関係者専用駐車場について

(1) 無線カメラ・無線機器の使用について

- ① 無線カメラの使用を希望される社は、取材申請の際に無線カメラの機材名/周波数を申請用紙に記入してお申込み下さい。
- ② 使用希望社の周波数は調整させて頂くことがあります。電波状況に応じて周波数を変更する場合がありますので、当日報道受付にてご案内致します。予めご了承下さい。

- ③ 使用可能な周波数が限られており、イベントエリア内では競技運営の周波数を優先するため、使用可能エリアについては大会当日にご案内いたします。

(なおオフィシャルメディアでは、音声モニター使用のため322MHz帯を使用予定です)

- (2) 報道関係者専用の駐車場は、入場許可証を送付しますのでその際にお知らせいたします。なお、当日は各社(各局)1台でご来場いただきますようお願いいたします。(1台で来場できない事由がある場合は事務局に予めご連絡ください。)

(3) その他

- ① 大会前日までの選手の取材、練習会場での取材撮影はできません。
- ② カメラ機材置場・控エリアは、プレスルーム内にて管理してください。
- ③ 室内競技場以外からの撮影はご遠慮下さい。
- ④ 競技本部・記録室・印刷室などのテクニカルエリアは立ち入り禁止となっております。
- ⑤ 本大会は室内競技場という特性と狭い環境のため、自由な出入りを制限させていただきたいと思っております。競技種目及び競技時間によって出入り禁止の時間帯を設定することも検討しておりますので、改めてご案内させていただきます。
- ⑥ また、ミックスゾーンの周辺にモニター等を設置いたします。競技場内の状況は、設置するモニターや大会特設 HP 等のオンライン配信からご確認ください。
- ⑦ 今大会はオンラインでの取材は実施いたしませんのでご了承ください。